

しまし 議会だより

Shimashi
Gikai

第77号

2024.2.15



『パパと一緒に』 にしおか 西岡 ひとみ

第3回御食国志摩写真コンテストにおいて、志摩市長賞を受賞した作品です。

第4回定例会 令和5年度一般会計補正予算等を可決
第1回臨時会 正副議長・議会選出監査委員等を決定

12月 第4回定例会

補正
予算令和5年度
一般会計補正予算を可決

令和5年度 一般会計補正予算

補正額（第7号） 4億7254万5千円

補正額（第8号） 5億1103万円

第4回定例会で可決

予算総額 291億 844万2千円

補正第7号

6年度の重点事業に位置づけ

第4回定例会を11月30日から12月22日まで23日間の会期で開催しました。今定例会では、市長から令和5年度一般会計補正予算案等42議案とその他1件が提出されました。審議の結果、全議案等を可決しました。また、一般質問では12人の議員が熱弁を振るいました。

不妊治療費
助成事業

100万円

少子化対策の一環として、不妊治療費や不育症治療費等の助成を行います。

問 増額補正に至った経緯を問います。

答 不妊治療費助成のうち、不妊治療費サポート事業の申請数が増加していることが挙げられます。

令和4年4月1日から制度運用が開始され、令和4年度の申請件数13件に対し、令和5年度は半期で9

件と利用する方が増加しています。

問 今後の取り組みを問います。

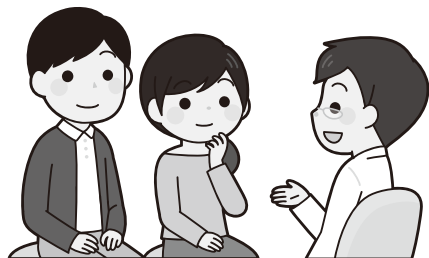
答 令和4年度から不妊治療が保険適用となりましたが、保険適用には回数制限や年齢制限があることや、

保険適用されても窓口での自己負担額が発生します。

その経済的負担軽減のため不妊治療費助成として、県補助事業の特定不妊治療費助成および市独自の不妊治療サポート事業の二本立てで事業を実施しています。

特に不妊治療サポート事

業についてはニーズが高いことから、引き続き、希望しながらも妊娠に恵まれないう夫婦の経済的負担を軽減するため、実績等を踏まえ、しっかりと取り組んでいきます。



業務効率化により事業費減額

債務負担行為補正
(一般廃棄物収集
運搬業務委託料
(志摩町))

2億2218万6千円

(令和5年から令和10年ま
で)

家庭から集積所に出され
たごみおよび資源のうち、
可燃ごみと一部の不燃ごみ
および資源の収集運搬業務
を業者委託します。

問 一般廃棄物収集運搬業
務委託料(志摩町)の限度
額は、令和2年度と比較す
ると単年度で約1340万
円の減額となった理由を問
います。

答 新たに5年間の委託を
行うに当たり、収集運搬業
務を見直した結果、収集運
搬に要する時間が減少した
ことと、一部の作業員が大
王清掃センターを拠点とす
ることに伴い、業務効率の

観点から、収集業務の一部
を直営にしたことによりま
す。

問 市が一部直営するこ
とを除いて、収集場所が減
少していないのに時間短縮
ができた理由を問います。

答 より効率的な収集運搬
を行うために、実際の収集

時間等を計測して見直しを
行いました。

問 収集の一部を市直営で
行う期間を問います。

答 委託する業務や期間
は、今後も作業員の人数や
最終処分場の管理等、収集
業務以外の業務も加味しな
がら検討していきます。



問 次回の債務負
担行為の提案時に
は、人件費は軽作
業員ではなく普通
作業員として積算
していくべきと思
いますが、市の見
解を問います。

答 今後、検討し
たいと思います。

防災行政無線の維持管理はしっかりと

防災行政無線維持
管理費

228万8千円

個別受信器へ電波を送る
子局のアナログ再送信機
が、経年劣化による不具合
が生じているものがあり、
早急な修繕が必要であるこ
とから、機器の修繕等を行
います。

問 どのような不具合が生
じていますか。

答 アナログ再送信機から
「ザー」という雑音を含ん
だ電波が出るものです。こ
れは冬場の急激な寒暖差に
より生じています。

問 いつ判明しましたか。

答 11月13日に市民からの
通報により判明しました。

問 どの地域で発生しまし
たか。

答 浜島町は浜島、松山

路、迫子。大王
町は波切。志摩
町は片田。阿児
町は鶴方、甲
賀。磯部町は、
山原、恵利原、
山田の一部の工
リアです。16基
の予備機を入れ
替えて順次回復
旧をしています。

12月17日、18
日にも複数の地
区で同様の不具
合が発生しまし
た。

問 完了予定はいつです
か。

答 業者による修繕は1月
中をめどに完了予定と聞いて
います。

問 戸別受信機が機能しな
い場合、災害時の対応はど
う考えますか。

答 市の防災行政無線は国
の「Jアラート」と連動
し、緊急時は最大音量で屋
外拡声子局のスピーカーが
強制的にサイレン音とともに
自動放送されます。

また、津波警報などは気
象庁から直接、緊急速報が
各個人の携帯電話やスマー
トフォンに向け強制的、自
動的に音と文字でお知らせ
することとなっています。



常任委員会の審査から

— 各委員会に付託された案件を審査しました。
ここでは主な質疑を掲載します。 —

総務産業 常任委員会 主な質疑

議案第87号

指定管理者の指定（志島地区公民館）

「志摩市公の施設に係る指定管理者の指定の手續等に関する条例」第5条第1項の規定により、施設の所在する自治会を指定管理者とするものです。

指定管理者の努力を管理料で還元を

問 光熱水費が3万5000円減額された理由を問います。

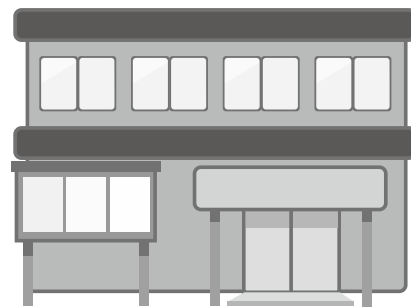
答 令和4年度に電力会社の契約を見直したこともありすが、減額の主な要因は、低圧電力の契約を18kwから12kwに落とししました。基本料金からその部分が下がったことが主要因と考えています。

問 これは行政サイドの気づきですか、それとも指定管理者の提案ですか。

答 志島自治会が電力会社と相談したと聞いています。

問 指定管理者の努力で経費を下げたのに、それでも指定管理料も下げるといふ考えですか。

答 電気代が現状下がっている中では、このように、積算をすることになっています。



議案第106号

志摩市行政組織条例の一部改正

令和7年秋に三重県で開催される「第44回全国豊かな海づくり大会」の準備および開催を円滑に進めるため、現行の産業振興部を水産農林部と観光経済部に分けるものです。

行政組織変更の目的は

問 農林水産部ではなく、水産農林部とした理由を問います。

答 「第44回全国豊かな海づくり大会」の着実な準備を県等と一体的に推進する組織として、水産農林部を設置することとした。

問 農林業に携わる市民の減少が懸念される中で、水産業重視で農林業の切り捨てとられかねない名称変更だと感じますが、市の見解を問います。

答 本市の基幹産業である農林水産業は、水産業、農林業ともに重要な産業であると認識をしています。地域経済の基盤となる水産業や農林業を通じて元気なまちづくりを進めるため、引き続き、様々な取り組みを行っていきます。



教育厚生 常任委員会
主 な 質 疑

議案第72号

志摩市阿児健康増進センターの設置
及び管理に関する条例の一部改正

阿児健康福祉センター大規模改修工事の完成に合わせて、1階部分にある阿児健康増進センターの多目的ルーム、トレーニングルームの管理運営に関する条例の一部を改正するものです。

トレーニングルームの
料金改訂は

問 使用料は市内統一された料金となりますか。

答 民間業者との料金格差を解消する目的もあり、民業を圧迫しないような料金設定をしています。

問 土日を休館日にした理由を問います。

答 市の直営の管理運営のため、保健センターと同様の開館日とし、職員が土日勤務することは勤務体制に影響が出るため土日を休館といたしました。



阿児健康福祉センター「サンライフあご」



器具搬入前のトレーニングルーム

議案第101号
指定管理者の指定
(賢島スポーツガーデン)

賢島スポーツガーデンの管理を株式会社代々木高校に行わせようとするものです。

人件費の上昇を
使用料増収でカバー

問 令和5年度の使用料収入見込みを問います。

答 年末年始や春の予約が好調で、当初予算の260万円を超える見込みです。

問 令和6年度使用料の見込みが300万円と過去にない収入額であり、翌年からは毎年10万円ずつ増加となる予算ですが、大丈夫ですか。

答 利用環境も向上し、主力の大学間での口コミも広がっており、合宿誘致に注力した増加を見込んでいます。

問 臨時職員賃金と施設清掃等委託料が年々増加しています。その理由を問います。



賢島スポーツガーデンのテニスコート

答 県内最低賃金の上昇によるものです。また、施設利用者の増加を見込んだ運営体制の強化とも認識しています。

議案の審議結果一覧

◆ 全会一致で可決した議案等

※紙面の都合上、議案名が省略され、正式名でないことがあります。

区分	議案番号	議案名
条例改正	議案第 72 号	志摩市阿児健康増進センターの設置及び管理に関する条例の一部改正
	議案第 74 号	志摩市委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
	議案第 75 号	志摩市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正
	議案第 105 号	志摩市職員の給与に関する条例等の一部改正
	議案第 106 号	志摩市行政組織条例の一部改正
	議案第 107 号	志摩市国民健康保険税条例の一部改正
補正予算	議案第 64 号	令和 5 年度志摩市一般会計補正予算（第 7 号）
	議案第 65 号	令和 5 年度志摩市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）
	議案第 67 号	令和 5 年度志摩市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）
	議案第 68 号	令和 5 年度志摩市水道事業会計補正予算（第 1 号）
	議案第 69 号	令和 5 年度志摩市下水道事業会計補正予算（第 1 号）
	議案第 70 号	令和 5 年度志摩市立国民健康保険病院事業会計補正予算（第 1 号）
	議案第 104 号	令和 5 年度志摩市一般会計補正予算（第 8 号）
その他	報告第 14 号	専決処分の報告（損害賠償の額を定めること）
	議案第 76 号	指定管理者の指定（波切コミュニティセンター）
	議案第 77 号	指定管理者の指定（名田地区公民館）
	議案第 78 号	指定管理者の指定（畔名コミュニティセンター）
	議案第 79 号	指定管理者の指定（片田共同福祉施設）
	議案第 80 号	指定管理者の指定（御座コミュニティセンター）
	議案第 81 号	指定管理者の指定（山田集会所）
	議案第 82 号	指定管理者の指定（梶坊集会所）
	議案第 83 号	指定管理者の指定（迫間中央集会所）
	議案第 84 号	指定管理者の指定（山原集会所）
	議案第 85 号	指定管理者の指定（神明地区公民館・うらじろ集会所）

◆ 全会一致で可決した議案等

※紙面の都合上、議案名が省略され、正式名でないことがあります。

区分	議案番号	議案名
その他	議案第 86 号	指定管理者の指定（立神ふれあいセンター）
	議案第 87 号	指定管理者の指定（志島地区公民館）
	議案第 88 号	指定管理者の指定（甲賀地区公民館）
	議案第 89 号	指定管理者の指定（国府地区公民館）
	議案第 90 号	指定管理者の指定（安乗漁民センター）
	議案第 91 号	指定管理者の指定（渡鹿野島コミュニティ公園、志摩市渡鹿野島開発総合センター）
	議案第 92 号	指定管理者の指定（志摩市間崎島開発総合センター）
	議案第 93 号	指定管理者の指定（船越老人憩の家）
	議案第 94 号	指定管理者の指定（片田大野老人憩の家）
	議案第 95 号	指定管理者の指定（越賀老人憩の家）
	議案第 96 号	指定管理者の指定（鵜方老人憩の家）
	議案第 97 号	指定管理者の指定（立神老人憩の家）
	議案第 98 号	指定管理者の指定（志島老人憩の家）
	議案第 99 号	指定管理者の指定（国府老人憩の家）
	議案第 100 号	指定管理者の指定（志摩市鵜方駅前広場）
	議案第 101 号	指定管理者の指定（志摩市賢島スポーツガーデン）
	議案第 102 号	工事請負契約の締結（令和 5・6 年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事（建築工事））
	議案第 103 号	工事請負契約の変更（令和 5 年度 志摩消防署志摩分署等高台移転工事（建築工事））

◆ 賛否が分かれた議案と審議結果

（付託委員会） 予…予算決算常任委員会

※中村孝司議長は表決に加わりません。 【○：賛成 ×：反対】

区分	議 案 名	委員会付託	山川 楠人	堀江 しおん	濱野 由人	松井 研二	森 光子	山本 桂史	下村 卓也	井上 幹夫	前田 俊基	濱口 卓	渡辺 友里夏	上村 秀行	金子 研世	野名 澄代	山下 弘	小河 光昭	西崎 甚吾	賛成	反対	結果
補正予算	議案第66号 志摩市後期高齢者医療特別 会計補正予算（第2号）	予	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	1	可決

一般質問

市政のここを聞く！

12人の議員が熱弁

一般質問とは、議員が議案とは関係なく市政全般について、市長の考えや意見を求め、事情をただし、議員や市民の意見などを述べることをいい、定例会でのみ行われます。

議員一人の持ち時間は60分以内と定めています。議会だよりでは、一般質問を行った議員本人が作成した原稿を議会広報特別委員会で確認して記事にしています。

← 次ページより

YouTube「志摩市議会」
チャンネルでは一般質問の
録画映像を視聴できます。



議会広報特別委員会 委員長のことば

市議会がどんなことをしているのか、よくわからない。こう感じている市民も多いのではないのでしょうか。私たち議会広報特別委員会は、市議会で話し合われたことを脚色なく市民の皆さんに伝える重要な役目を担っています。この責務を念頭に置き、ひとりでも多くの人に信頼性の高い情報をお届けできるよう試行錯誤を重ねてまいります。今後アンケート等にもご協力いただき、皆さんの声の力で市議会の広報活動を育てていただければ幸いです。

堀江 しおん

このたびの令和6年能登半島地震により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。
志摩市議会では、義援金を全国市議会議長会を通じて送金することを決定しました。

令和6年
能登半島地震の
義援金について

令和6年第1回定例会日程（予定）

2月	28・29日	本会議
3月	5・6・8日	本会議（一般質問）
	12日	総務産業常任委員会
	13日	教育厚生常任委員会
	14・15・18・19日	予算決算常任委員会
	22日	本会議

市役所 6 階議場・委員会室にて午前 9 時から
※都合により変更になる場合があります。

委員長 堀江しおん
副委員長 森 光子
委員 松井 研二
委員 井上 幹夫
委員 前田 俊基
委員 渡辺友里夏
委員 野名 澄代

議会広報特別委員会

志摩市の 子どもたちのために



かねこ けんせい 議員



学力を守る

問 令和5年4月18日に実施された令和5年度全国学力・学習状況調査の結果をどのように分析していますか。

答 教育部長

小学校では国語・算数の2科目、中学校では国語・数学・英語の3科目について行われ、市は中学校の国語で平均正答率が全国と同じでした。それ以外の小学校2科目、中学校2科目は、全国平均をやや下回る結果でした。

今回の結果を分析すると、基本的な計算をしたりするなど、基本的な知識や技能を問う問題の正答率が高い傾向にあり、基礎的な学力はおおむね定着していると考えられます。

一方で、小学校・中学校とも条件に合わせ自分の考えをまとめ、記述する問題の正答率が低い傾向です。

また、家庭での学習時間が少ないといった課題があり、家庭学習の確保についても家庭と連携した取り組みが必要であると考えています。

問 長年、同じ手法で結果が出ていないのであれば、新しい取り組みを行っていくべきと考え

ますが、学力向上に向けて新しい取り組みを行う考えはありますか。

答 教育長

学力向上については基礎学力の定着と応用力の向上という2つの側面があると思います。

基礎学力の定着については、個々に応じたきめ細かな指導を継続し、常に「今よりも一問多く解く」ということをスローガンとして、各学校に呼びかけながら取り組みを進めています。

また、自分の考えをまとめたり記述したりする応用力については、授業の中で取り組んでいます。が、今後はすべての教科において、そのような活動を意識して、更なる授業改善につなげたいと考えています。



歯を守る

問 市内小中学校におけるフッ化物洗口を今後どのように進める考えでしょうか。

答 教育部長

令和5年度は小学校1・2年生、令和6年度は小学校1・2・3年生を対象にし、順次1学年ずつ増やしていく。令和9年度には小学校6年生までの全児童でフッ化物洗口を実施する予定です。その後、中学校においては小学校における効果等を分析し、中学校と協議し進めたいと考えています。

歯科健診の結果は

問 市では、12歳児における虫歯のない児童の割合の目標値を78・4%と定めていますが、令和5年度歯科健診の結果における12歳児の虫歯のない児童の割合はどのような数字でしたか。

答 教育部長

令和5年度は71・9%です。

問 医療機関を受診し、早期に治療を始めることが児童生徒の



虫歯をなくすための一つの手法だと考えます。

現在、任意での提出である医療機関に受診を勧める歯・口腔の健康診断結果のお知らせの回収率を上げる努力をしていくべきと考えますが、教育委員会の見解を聞かせてください。

答 教育部長

健康診断結果のお知らせが確実に保護者へ届いていない可能性も考えられるので、今後は配布の際には保護者連絡システム「すーる」のメールを活用して保護者へ確実に届く方法を考えていきます。夏休み前の懇談会等で、直接保護者に会う機会がありますので、受診勧奨をしていき、回収率を上げたいと考えています。

※他に「市内中学校の校則」等についても質問しました。

安全安心の 住みよい環境づくり



山本 桂史 議員

10

市政のこころを聞く！

支障木等の伐採計画

問 伐採計画の進捗状況を聞きます。

答 建設部長

現時点では、計画35路線のうち14路線を伐採し、その他の路線も順次、伐採計画に基づいた対応を進めています。進捗次第では自治会や教育委員会等とも連携して、計画の見直しも検討しながら、道路利用者の安全安心な通行に努めます。

問 交通標識等が見えない、防犯灯が下を照らしていない、また、交差点付近に行かないと信号が見えない等の情報は職員からないのか問います。

答 建設部長

通常のパトロールで把握している部分で、職員等からの通報もあります。刈成地区に上がる信号機等については、鳥羽警察署と協議中で、そのほか、土地所有者等の調査も含めた対応を進めています。

問 市有地、市管理の支障木が道路にはみ出ている大江戸温泉前の道路では、支障木によりバスが対向できず、また市営住宅「はまゆう棟」付近の草が道路

にはみ出ているなどの状況も把握しているのか問います。

答 建設部長

大江戸温泉前の路線は、市道松山路浜島線で、バスや大型車等の通行支障となる樹木があるというの十分把握しています。現在、土地所有者の調査中で、確認でき次第、対応を進めたいと考えています。

市営住宅のバイサイド大方の部分は、連絡等を受け、先般、対応しました。

問 優先順位を問います。

答 建設部長

交通量の多さやバス路線であるか、通学に使用している路線であるか等、総合的に各箇所状況を加味し、通行の支障となっている路線を4グループに分けて優先順位を検討し、優先度の高いグループ路線から順次対応しています。倒木等緊急対応を要する箇所も早



市営住宅はまゆう棟

急に伐採対応しながら、道路利用者の安全通行の確保に努めたいと思っています。

問 市が発注する工事等の現場付近は優先的に、また、工事発注と併せて、伐採の発注は出来ないのか問います。

答 建設部長

支障木生育地が市の土地であれば、直営での対応や、支障の状況によっては、工事受託事業者に伐採等の協力をお願いするなど、工事箇所付近にて事故が発生しないよう、早急な対応に心がけています。

優秀施工業者表彰

問 市の優秀施工業者表彰制度は設けないのか問います。

答 総務部長

社会貢献へのモチベーション維持、表彰に伴う達成感等も一定の効果があると認識しています。採点のあり方や判断基準の精査等、他市における実施状況や三重県建設業協会志摩支部、志摩建設事業協同組合等の関係者の意見等も踏まえ、総合的に検討し、施工業者の技術および意欲向上に努めたいと考えています。

浜島町松山路のふるさと農道

問 浜島町松山路のふるさと農道の状況を問います。

答 産業振興部参事

浜島町松山路地内の県道磯部浜島線と迫子地内の農道磯部浜島線を結ぶため、県のふるさと農道整備事業で整備したもので、完成後に市が譲渡を受け、農道まぜ河内線の名称で除草等の維持管理を行っています。交通量も多く、区画線等の消耗が激しく、中央線と車道外側線が不明瞭な状況になっています。

問 今後の対応を問います。

答 産業振興部参事

農道まぜ河内線は、令和6年1月末までに全区間の区画線設置工事が完成する予定です。



松山路ふるさと農道

種苗センターの 多様な利活用を



の 野 名 澄 代 議員



問 大王種苗センターの利用状況と、中間育成の成果と課題を問います。

答 産業振興部参事

令和5年度はサザエとアワビ、それぞれ種苗1万個の中間育成と、アワビをどの程度まで育成できるか等の試験を行っています。成果は放流時に魚類による食害の減少と海洋環境変化への適応力の強化等により、生存率は高くなります。

放流後の課題は、磯焼けによる藻場の減少で餌となる海藻がほぼ無い状況となり、その漁場改善対策として食害魚類の駆除や人口藻場をつくり、海藻を再生させる試みを行っています。

問 現在、中国の日本水産物禁輸措置の影響で厳しい状況にあると承知していますが、漁業の将来を見据えてナマコの中間育成に取り組む考えはありませんか。

答 産業振興部参事

ナマコの養殖は三重大学と県立水産高等学校が共同研究していますので、研究成果を参考にしながら中間育成の可能性を検証していきたいと考えています。

問 種苗センターの管理運営費は漁業者と外湾漁協および市でそれぞれ3分の1を負担しています。

ますが、漁業者の年間負担額約100万円は収入とのバランスが取れていません。管理運営費の負担を軽減する考えはありませんか。

答 市長

現場の皆さんと議論をしながら、今後、方向性を決めていければと思います。

問 NTTグループが、5年後に年間収益100億円を目指して陸上養殖に参入すると聞きました。大王種苗センターは規模や位置的な条件と市の財政力からして比較対象にはなりませんが、種苗センターを用途変更して陸上養殖に向けた実験施設として活用する考えはありませんか。

答 市長

陸上養殖を含めて用途変更できると一つの仮説を立てての話にな



大王種苗センター

りそうですが、マーケットが何を求めているか見据えたうえで、深く掘り下げて勉強したいと思っています。

デマンド交通の実証運行に向けて

問 志摩町と大王町で開始するデマンド交通の実証運行の期間は、令和6年1月10日から3月29日までで、予約は電話・専用アプリ・ラインが示されています。

予約に関して、高齢者への課題を問います。

答 政策推進部長

アプリやラインの予約は実証期間中であれば、24時間いつでも受付可能です。

電話予約の場合は、当初は電話を利用しながら市が行っているスマートフォン教室を通じて、アプリやラインの活用方法もサポートしていきたいと思っています。

問 停留所の課題を問います。

答 政策推進部長

地域の身近な場所を中心に大王町で49カ所、志摩町で60カ所の停留所を設置しています。

停留所となる一部の商店や病院が



デマンド交通の車両

ら手押し車の時的な保管の了承も得ています。また、高齢者や障がいのある方に関しては、乗車時にドライバーに手伝ってもらうことも確認しています。

問 デマンド交通の運行を継続していくためには、市民の協力が不可欠です。

市民は何をどのように協力し、市は市民が何を求めているか整理しながら、この事業を市内全域に拡大してほしいと思っています。市長の見解を問います。

答 市長

どの地域にどの事業が合っているのか検証したうえで、市内全域に行き届く実証実験を進めて行きたいと思っています。

令和6年度 事業の新陳代謝とは



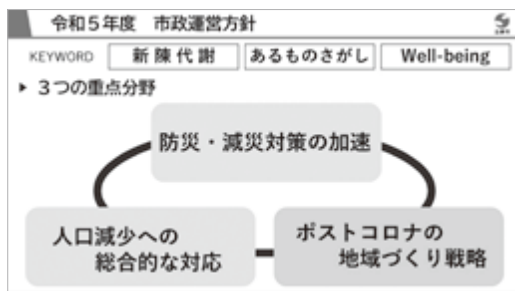
にし ざき じん ぎょ 議員
西 崎 甚 吾



12

市政のここを聞く！

しまし議会だより 第77号



令和5年度 市政運営方針

問 令和5年度から6年度においても、市政の基本方針として新陳代謝を掲げています。令和5年度の主な取り組みを聞きます。

答 市長

市政運営においては新陳代謝をキーワードに三つの重点分野を掲げ、積極的かつ着実に取り組みを進めているところです。

答 政策推進部長

防災・減災対策の加速では、津波避難訓練を促進し、30地区で実施してもらいました。また、地区避難所運営マニュアル作成等、防災活動の支援を行いました。ハード整備では、避難路整備を要望する自治会に対する支援を行っています。

ます。

人口減少への総合的な対応では、市内企業の就職情報等を紹介するPR動画の制作や、大手就職情報サイトに市の特設ページを設け、市内企業の採用情報や市で働く魅力を発信しています。

ポストコロナの地域づくり戦略では、コミュニティバス運行事業に取り組み、令和5年度は志摩町と大王町でデマンド交通の実証運行を行います。

市制20周年 新陳代謝の予算編成

問 予算要求では、各部署が行う新陳代謝の取り組みに対して、聴き取りや協議はどのように行われましたか。また既存事業はすべて点検し、行われていますか。

答 政策推進部長

令和6年度の予算編成方針とともに市政運営の基本的な考え方を策定し、現在査定を進めているところです。

新陳代謝をさらに促すよう9月下旬から10月上旬に政策推進部による政策協議を開催し、重点分野の項目や重要と判断する項目、新規事業や拡充、再構築事業について

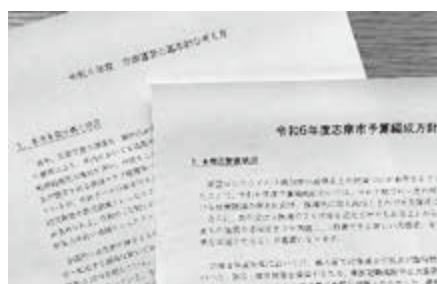
て、市長、副市長とともに各部署から聴き取りを行いました。

既存事業では各部署自ら行政評価を実施して事業の目的や効果を明確にし、実効性を高めた予算要求となるよう促しています。

問 決算における成果や証拠を踏まえ、PDCAサイクルを高めた令和6年度の予算要求になっていますか。

答 政策推進部長

行政評価の上では、予算と決算を独立して扱うものではなく、相互に連携し体的、包括的な体系を保つことが重要です。予算が可決され、執行による決算で明らかになった政策課題を基軸に、PDCA管理サイクルの手法を用い、翌年度の予算に反映することで、新陳代謝が図れるものと考えています。



令和6年度 予算編成方針

行政改革推進に つなげる新陳代謝

問 行政改革推進委員会からの答申の中に「毎事業の予想される成果を確認して予算を配分し、完了後には所期の成果を上げることができたのかを評価・検証し、次年度予算編成で改善策を示すといった取り組みこそが重要になっている」とあります。

以上の指摘に対する執行部の見解と、行政改革実施計画についても聞きます。

答 政策推進部長

新陳代謝を徹底していくためには、事業の成果や効果を検証することにより、事業継続の必要性を十分検討し、効果を上げている事業も含め見直しを行っていく必要があると考えています。

行政改革実施計画は一旦終わり、令和2年の財政健全化アクションプログラムの改定以降は、アクションプログラムの個別方針に沿い、事業の効果を検証していくこととしています。評価は市長を本部長とする行政改革推進本部にて、状況を確認しながら事業の改善につなげています。

やっと出した病院長への懲戒処分



しもむら たくや 議員
下村卓也



問 市民病院病院長の懲戒処分の決定が遅れた原因は何ですか。

答 総務部長

令和4年6月に総務課のハラスメント相談窓口に相談があり、聴き取りを行った後、日程調整および第三者の聴き取り調査を含めた事実確認に時間を要しました。

問 令和4年5月から11月末までに休職や退職した職員はいませんでしたか。

答 総務部長

市民病院における休職や退職者については複数名いると確認しています。

問 パワハラの相談をしている職員はまだいますか。

答 総務部長

相談された職員は複数名います。

問 パワハラの証拠がない場合は、職員の証言を取り、懲戒処分の対象の資料としていますか。

答 総務部長

音声データのような証拠がない場合には、聴き取り調査の結果等に基づいて、ハラスメント認否について判断をしています。

問 病院経営のあり方を検証すべきではないですか。

答 市長

市民の皆さんの圧倒的信頼を得て、地域医療に取り組んでいくのが市民病院の使命・責務であることを常に対面で伝えていきます。粘り強く丁寧に市民病院の職員に伝えることが大変重要であると思っています。

問 病院長不在の市民病院でも正常に機能していますか。

答 病院事業部長

外来患者件数はあまり変動は見られません。また、懲戒処分後も診療体制を縮小することなく、代務医師の応援を得ながら通常通りの診療業務を行っています。

アンケート調査 集約後の対応は

問 ハラスメントを受けたとする職員の認定の実態調査は行いましたか。

答 総務部長

具体的に記載する調査ではない



病院職員アンケート結果

かったことから、より相談しやすい環境づくりに取り組みました。

問 ハラスメントを受けていた職員の心のケアと、ハラスメントを行っていた職員への指導や懲戒処分を行う予定はありますか。

答 総務部長

ハラスメントを受けていた職員に対しては丁寧な対応を行い、ハラスメントを行った職員に対しては懲戒処分を含めて指導を徹底していきたいと考えています。

過疎問題を考える

問 「全国過疎問題シンポジウムinとやま」に参加した市長の感想を聞かせてください。

答 市長

過疎地域の皆さんが考えている、また、市民の皆さんが能動的にまちづくりに携わっている部分に対しては、我々が考えもつかないうようなデジタル技術を活用した取り組みや、過疎地域といえども日本を牽引するような、斬新な施策を打っている事例を紹介してもらいました。

私としても、考え方の方向性は間違えていないことを認識できたと思いますし、大きなヒントになる、シンポジウムであったと思います。

問 参考となった事例はどのようなものがありましたか。

答 政策推進部長

新潟県長岡市山古志地域における「デジタル村民事業」と富山県南砺市井波町における「ジソウラボ事業」が、本市においても非常に参考となる取り組みではないかと考えています。

問 飛騨市の「ヒダスケ！」を参考とした市の取り組みを研究・検討できませんか。

答 政策推進部長

令和6年度に向けて「ヒダスケ！」の取り組みを参考にしながら、市制20周年を契機とした志摩びとの会のリニューアルを検討していきたいと考えています。



飛騨市の「ヒダスケ！」

地域間や国際交流で 誘客促進を



はまのよしと議員
濱野由人



問 地域間交流および国際交流の現状を問います。

答 市長

観光業を中心に人の流れが戻りつつあり、取り組みを控えていた地域間交流や国際交流も積極的に進んでいるところです。

問 子どもたちが関係する体験交流は、住んでいる市町では体験出来ないことが体験できるという意味からも、有用な取り組みであると思いますが見解を問います。

答 市民生活部長

多様な価値観や文化に触れることで、子どもたちの考えや新たな可能性を広げることにもつながると思います。大変重要なことであり、関係部署と連携し、地域間交流や国際交流が推進できればと考えています。

問 国際交流は、MICE誘致やインバウンド誘客にも貢献するものと考えます。

目的・ターゲット・タイミングをしっかりと見定めて、これからの国際交流が有意義な事業となることを期待しますが見解を問います。

答 市長

お互いが有益なものになることが大事だと思います。

今後、積極的に交流も深めながら、改めてお互いに友好的な部分をしつかりと模索していくことが重要であると考えています。

問 友好交流は、誘客のための有効な手立ての1つでもあると考えますが見解を問います。

答 市民生活部長

様々なつながりを生かしつつ、民間団体や各種の協会等と協力の上、交流事業を推進し、インバウンド誘客や交流人口の拡大に取り組んでいきたいと考えています。

問 今後の地域間交流および国際交流のあり方を、どのように考えているのか問います。

答 市長

様々な地域と関係性を持つことは、いろいろなヒントをもらう



郡上市・志摩市友好都市提携協定書

きっかけになると思います。今後、それぞれの地域の歴史的背景も含めて調査研究を行い、推進していきたいと考えています。

灯台ワールドサミットの有効活用を

問 令和5年度に出雲市で開催された、「第4回灯台ワールドサミット」の開催状況について問います。

答 産業振興部長

サミットの大会に150名、イベント会場には延べ約4000名が来場されたと発表がありました。新たな取り組み等に関する情報共有や各地の地域団体との交流が図られ、大変有意義であったと考えています。

問 本市には、観光資源でもある安乗埼灯台と大王埼灯台の2つの参観灯台がありますが、灯台ワールドサミットを通じて、今後どのように本市の観光に活用されるのか問います。

答 産業振興部長

安乗埼灯台・大王埼灯台の連携の深まりにより、灯台の観光資源としての活用を更に推し進め、灯



灯台ワールドサミット
in 出雲 パンフレット

台ワールドサミットで得た経験も活かしながら地域の活性化につなげていきたいと考えています。

問 灯台活用推進市町村全国協議会の構成自治体等が、一体となつて首都圏等でプロモーションを実施することで、灯台の認知度の向上や未加入自治体の加入促進にもつながる取り組みであると考えますが見解を問います。

答 市長

灯台を有する地域が、いかにすばらしいものかということを協力し合いながら、首都圏エリアで発信していくこともたいへん魅力的なことであると思います。今後、協議会の運営に際して、しっかりと提言をしながら実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。

MICE 誘致の 具体的戦略とは



まついけんじ 議員
松井研二



問 G7三重・伊勢志摩交通大臣会合の成果を問います。

答 市長

今回の会合開催による成果は「魅力発信」「若者の活躍」「受け入れ体制」「経済効果」に区分されると考えています。

魅力発信については、各国閣僚をはじめ関係者の皆さんに本市の持つ豊かな自然、食、志摩特有の文化、産業等、志摩ならではの魅力を十分に発信することができたと考えています。

また、若者の活躍としては、市内小中学生を中心に取り組んだG7千羽鶴プロジェクトや東海中学校郷土芸能クラブによる安乗の人



おもてなしの気持ちを込めて

形芝居の上演、神明小学校の児童が斉藤国土交通大臣に直接質問した子ども記者等、子どもたちの活躍が光りました。

受け入れ体制としては、おもてなしや環境整備、情報発信等の取り組みをオール志摩市により進めることで、2度目のG7会合という世界的な国際会議を成功裏に終えることができたことは、非常に誇らしい、大きな成果であると考えています。

県の発表では、約98億円もの経済効果があつたと推計され、内訳は経済波及効果が約8億円、パブリシティ効果が約90億円です。

このように、会合開催により本市にとってあらゆる側面から多くの成果が得られたものと確信しています。

問 MICE誘致により本市の課題解決につながる取り組みを問います。

答 政策推進部長

市の抱える大きな課題として人口減少があり、MICE誘致は、その解決の糸口となる一つの重要な施策であると考えています。またMICEの推進は、地域への経済波及効果や交流人口の増加といったプラスの作用をもたらし、

市民の誇りや愛着、さらには住み続けたいなるまちづくりにつながります。

これからもMICE開催の実績を積み重ね、市が有する豊かな自然、食、伝統文化等のコンテンツを併せて活用することで、志摩市として一定のブランドが確立されていくと考えています。

今後世界から選ばれるMICE City Shimaの実現を目指すことで、人口流出に歯止めをかけ、自慢できる新しい志摩市に向けて着実に取り組んでいきます。

住宅耐震化の二ーズを的確に

問 木造戸建て住宅の耐震化の考えを問います。

答 建設部長

令和5年度では無料耐震診断受診者が50件であり、受診者全員に診断後の意向確認調査を行った結果、40人の受診者が除却を希望していました。

令和3年度では無料耐震診断受診者が50件のうち、除却工事補助利用者が36件、令和4年度では、無料耐震診断受診者50件のうち、



「安価な耐震改修講習会」の様子

除却工事補助利用者は28件でした。半数以上が除却を希望し、市全体の耐震化率は着実に向上しているものと判断しています。

市としては、防災・減災対策や市民の生命、身体および財産の保護という観点から、木造家屋における耐震補強の推進と倒壊する可能性が高いと判断された家屋の除却の推進等、様々な補助事業を積極的に進め、耐震化事業を空き家等対策にもつなげていきたいと考えています。

※他に「木造戸建て住宅のリフォーム支援」についても質問しました。

避寒地としてのアピールで 誘客を



井上 幹夫 議員



観光客の現状は

問 市を訪れる観光客の季節別や月別の動向をどのように捉えているか問います。

答 市長

令和5年度はコロナ禍前の令和元年度の入込み客数と比較して、約9割まで回復しています。

この機会を逃がさず、旬を迎えている食や唯一無二の自然景観等の情報発信を積極的に行い、地域の事業者の皆さんと連携をしながら、観光による地域活性化に向けて各種取り組みを強化していきます。

答 産業振興部長

令和4年の実績は、1月から6月の上半期が約全体の38%、7月から12月の下半期は62%です。

季節別は、やはりトップシーズンである夏場に海水浴や自然体験を求めて多くなる傾向で、家族旅行の割合が最も高くなっている状況です。

月別では8月が全体の14%、10月が11%と上位を占める一方で、1月が全体の5%、2月が3%で、特に冬の寒い時期が入り込み客数が落ち込む、いわゆる閑散期と把握しています。

閑散期の誘客を

問 冬場の温暖な気候は志摩市にとって大きな魅力だと考えます。冬場の観光誘客には、やはり温泉が有効と考えます。近年の温泉活用の実績を問います。

答 産業振興部長

市内には、温泉が楽しめる施設が22カ所あります。令和4年度の入湯税の納入額の実績から、温泉利用者は約74万2000人です。コロナ前の令和元年度は約88万人なので、まずはコロナ禍の前の状況に戻していけるような努力をしていきたいと考えています。

問 温泉を利用する施設が増える可能性があるのか問います。

答 産業振興部長

温泉というコンテンツは、旅行会社の中でも上位にランクされる



パンフレット「しま〜ゆ」の表紙

体験型観光は、単に観光地を訪れるということではなく、地域固有の文化や自然に触れ、自ら体験するところに重点を置く現在の観光の主流となるものです。地域を訪れる観光客に対し、より深く意味のある旅行体験というものを提供していくことが重要な誘客手段の一つであると認識しています。

冬場の体験型観光の充実を

問 市には、冬場に見学できる産業や文化財が多くあると考えます。市は体験型観光の取り組みや考え方について、どのように捉えているか問います。

答 産業振興部長

体験型観光は、単に観光地を訪れるということではなく、地域固有の文化や自然に触れ、自ら体験するところに重点を置く現在の観光の主流となるものです。地域を訪れる観光客に対し、より深く意味のある旅行体験というものを提供していくことが重要な誘客手段の一つであると認識しています。



体験型観光の1つ「イセエビ漁」

令和5年度には、地域活性化企業人の出向元企業と連携をし、海女漁の見学や漁で取れた海産物を試食できる体験や市場での競り見学を行い、競り落とされた新鮮な魚を朝食で食べることが出来る体験等、志摩ならではの要素を組み入れた旅行商品の造成、販売というものも実施しています。

今後は、現在販売をしている旅行商品の販売状況を確認しながら、地域の方々と調整をしたうえで、本市の地域資源である灯台や土木遺産に認定された波切の石積み構造物群、また、イセエビ漁の網さばき体験等を組み入れた旅行商品の造成も今後検討していきたいと考えています。

充実した教育環境 校庭の芝生化を



あき 昭 議員
お 小 河 光



問 JFAのグリーンプロジェクトの認識を問います。

答 教育部長

JFA日本サッカー協会が実施している学校グラウンドや、アンツーカーの多目的運動公園等の芝生化を推進する事業と認識しています。

問 土のグラウンドから芝生のグラウンドに変更したときのメリット・デメリットを問います。

答 教育部長

メリットは、子どもたちの転倒時にけがの軽減であるとか防止が期待されること、土や砂埃の飛散が抑えられること、子どもたちが活発に屋外で活動し、体力の向上が期待されます。一方、デメリットは、日常の維持管理に多くの費用と労力を要する、施行期間や芝



近江八幡市立北里小学校の芝生グラウンド

刈りした際の養生期間におけるグラウンドの使用制限があります。

問 少子化が進む中、特色ある学校に変換していくことが望まれます。どここの学校も同じ整備を基本とするのではなく、地域の声や歴史を背景にした整備が必要と考えます。学校校庭の全面芝生化について市長の考えを問います。

答 市長

芝生化をするメリットは感じています。事業化に向けて、今は調査研究段階と思っています。

子育て支援策、絵本のプレゼントを提案

問 子育て支援で、本をプレゼントする取り組みを問います。

答 教育部長

ブックスタート事業として、生後7カ月の乳幼児を対象に絵本のプレゼントを実施しています。

問 パーソナル知育絵本は、子どもにとって本に興味を持つ、本が好きになる有意義なプレゼントになるように思いますが、導入の考えを問います。

答 教育部長

パーソナル知育絵本の導入自治

体の情報等も調査しながら、調査研究していきたいと考えています。



パーソナル知育絵本の例

問 パーソナル知育絵本とセカンドブックのプレゼントを図書館で行うことについて市長の考えを問います。

答 市長

教育長と意見交換しながら、引き続き調査研究していきたいと思っています。

漁業支援策、ナマコ増養殖を提案

問 黒潮の蛇行が長引く中、漁業者にとっては厳しい年が続く、深刻な状態になっていきます。令和6年度も漁業者支援は継続されるのか、現在予定している漁業者支援策と新規支援策を問います。

答 産業振興部参事

磯焼け対策として、食害生物駆除委託、藻場造成支援、磯根資源管理育成支援。水産業の担い手対策として、新規漁業就業者支援。さらに真珠、カキのへい死対策として、真珠稚貝購入補助、マガキ稚貝等購入補助を実施しています。加えて、漁業共済加入に対する補助を実施しています。

令和6年度も引き続き実施すべき事業を精査して、漁業者のニーズに合った支援策を検討していきたいと考えています。

問 磯焼けが解消されるにはまだまだ時間がかかると思いますが、アワビ、サザエが減少する中、ナマコを増やすことができないかと考えますが、ナマコの増養殖に対する考えを問います。

答 産業振興部参事

ナマコ等の磯根資源の増養殖の取り組みは、持続可能な水産業にとって必要なものと考えています。三重大学水産学部と三重県立水産高等学校が令和2年から、ナマコの生態について共同研究を実施しています。研究成果を参考にしながら、ナマコの増養殖の可能性について検証していく必要があります。

eスポーツで フレイル予防



わたなべ ゆりか
渡辺友里夏 議員



問 健康寿命を延ばす市の取り組みを問います。

答 健康福祉部長

健康寿命とは、健康上の問題で、日常生活が制限されることなく生活できる期間のことをいいます。

健康づくり運動推進事業では、運動習慣の定着、行動の意識や習慣の変化につながる取り組みを実施。介護予防では、フレイル(※)の予防をテーマにした出前講座を、疾病予防・重症化予防では、糖尿病の重症化予防を目的とした個別指導に取り組んでいます。

フレイルの状態に陥らないためには、足指の筋力を鍛えることが転倒防止に役立ち、運動機能が維持向上するという研究成果もあり、健康志向に向けた行動や意識の変容を促しながら、健康寿命の延伸に取り組めます。

問 フレイル予防対策として注目され、ビデオゲーム対戦で腕を競うeスポーツは、テニス、バトミントン、ボーリング等のスポーツゲーム、カーレースゲーム、パズルゲーム、太鼓を使ったリズムゲーム等、多種多様です。eスポーツを活用し、楽しみながら認知機能の向上が期待できるフレイル予防事業の

実施の考えを問います。

答 健康福祉部長

全国の事例を参考に、eスポーツの有効性等を確認し調査研究を進めます。

死後のサポート 終活支援で

問 遺体を引き取る人がいなければ無縁遺骨となります。単身高齢者が亡くなった後も尊厳が守られる仕組みが必要です。市の終活支援の考えを問います。

答 健康福祉部長

市の単身高齢者の世帯は、令和5年10月末現在、5923世帯です。世帯全員の26・3%です。

市では、成年後見制度と併せ

市政のここを聞く！

て、遺言やエンディングノートの活用をテーマとした終活講座を実施し、高齢期を考えるきっかけづくりとして、ライフデザイン講座を実施しています。

今後は、個々の相談に対応する中で、葬儀会社や法律の専門家等と連携し、ニーズに沿った終活支援に取り組んでいきたいと考えています。

異物混入防止対策 効果的に

問 ペットボトルリサイクルの「ボトルt.o.ボトル」は質が課題です。正しい分別方法について市の取り組みを問います。

答 市民生活部長

ペットボトルの分別方法の周知

報誌等で行っています。
ボトルt.o.ボトルの協定式にて、水平リサイクルの考え方の周知やそれに伴う分別方法等、報道機関を通じて広く周知できたと考えています。

問 自動販売機のリサイクルボックスへの異物混入は事業者任せにせず、市の協力も必要と考えます。市の見解を問います。

答 市民生活部長
自動販売機に隣接して設置のリサイクルボックスの一部では、プラスチック製の弁当容器や廃棄食品等の異物の混入も見受けられます。

人の移動が活発になってきたことで、全国的に同様の問題が発生しているため、環境省は令和4年度に自動販売機横リサイクルボックスへの効果的な異物混入防止に関する実証事業等も実施しています。

市も課題に対する実証事業の参加、課題解決に向けた国や県への要望、ごみの適切な廃棄の周知啓発に取り組めます。

※フレイル：介護が必要となる
一歩手前の状態

参加費無料！
見学・体験OK！

健康長寿に過ごすため、また、災害に備えて
「健脚運動」で
足腰を鍛えましょう

高齢者を対象に、歌に合わせて足腰を鍛える運動を行っています。無理せず自宅でも継続して行えます。介護予防としての転ばない足腰づくりだけでなく、いざという災害時に備えて丈夫な足腰の維持にむけて、行ってみませんか？

下肢筋力の低下を予防する運動。三重大学大学院医学系研究科看護学専攻老年看護学分野 磯部知子（いそわとこ）教授から指導指導を受けながら、地域の高齢者が集う場で実施しています。

健脚運動とは

内容
1セット20～30分程度、7種類の運動から作られており、体力に応じて運動量や運動の強さを調整できます。地区の自治会、老人クラブ、お通夜サポーター、三重大学、志摩市等が協賛で実施しています。

会場・時間 市内16地区（要面参照）

お問い合わせ ☎ 44-0284 志摩市役所 介護・総合相談支援課

啓発は、これまで資源とごみの分け方・出し方パンフレットや、ごみ収集カレンダー、年末年始のごみの持ち込みチラシ、市の広

学校図書館の充実を



もり 森 みつ 光 子 議員



問 学校図書館の現状を問います。

答 教育部長

読書活動と、図書の貸し出し、紹介、検索等、授業や行事で学んだことを確かめ、深める主体的学習を支援しています。令和4年度は授業での図書館利用は350回で、学校図書館支援員がサポートします。また教員への図書の紹介や提供をして授業支援を400回以上行っています。図書館が昼休みや放課後に開放され、一人でも安心してすごせる居場所となっています。また図書委員会活動で、他学年との交流やイベントの開催で、自発的・主体的な成長を育む役割を果たしています。

学力を支える読書

問 国語の学力テストで、自分の考えをまとめる力、記述をする回答が弱いと聞きましたが、これは読書力が大きく関係するのではないですか。

答 教育部長

子どもたちの学力の中の自分の意見をまとめて発表する部分は課

題としています。元になるのは読解力、文章を読んで何を問われているか、何を答えたらよいかを把握できる力は読書によるところもあると思います。小さいころから本に親しむ、文字に親しむ文字を嫌わないという習慣の上に読みこなす訓練もいると思うので読書は基本になります。本に親しむ機会を大事にしながら自分の意見を持ち、それを交流する時間も各授業の中で大事にしなければと思っています。

学校司書を増員し正職員に

問 学校司書を増員する考えはないですか。

答 教育部長

令和4年度に4人から5人に増員しています。増員したことによる活動実績と成果を整理したうえで、今後の増員を検討していきたいと考えています。

問 学校司書は月曜日から金曜日まで1日7時間働き、資格を有する人もいます。本人の希望があれば会計年度任用職員では

なく正職員にするべきではないですか。

答 教育部長

会計年度任用職員の採用を考えていて、正職員としての考えは今のところありません。



市内中学校図書館

人材づくりにつながる

問 市の人材を育てることは、市の未来にとって大きな財産となります。学校図書と市立図書館の充実で市の人材づくりについて市長の見解を問います。

答 市長

読書という部分も大変重要な教育の一環だと思いますが、子ども

たちは大変忙しい状況にあります。時間の作り方も教育して、読書をする時間をつくる工夫も必要だと思います。

物価高騰への支援を急いで

問 非課税世帯への国の交付金を待っている方が多くいると想像します。しかし年内に届かない心配があります。市長の決断で年内に届くようにすることはできませんか。

答 市長

議会で予算を認めていただき、そのタイミングで最速の給付ができるようにがんばっていきます。

問 営業継続のために踏ん張っている農業・漁業者を含む個人事業者への特別支援は考えませんか。

答 産業振興部長

プレミアム付き商品券事業、志明スマイル商品券販売事業を実施しているところです。国等からの交付金を活用しながら支援を行ってきました。今後も状況を見極めながら必要な支援を実施したいと考えています。

新たな子育て支援と 観光の拠点へ



やま かわ くれ ひと
山 川 楠 人 議員



20

問 志摩B&G海洋センターおよび周辺施設の今後の改修計画等をどのように考えていますか。

答 市長

志摩B&G海洋センターと志摩総合スポーツ公園は、青少年の健全育成や健康増進を目的に、地域コミュニティの拠点であるだけではなく、スポーツ合宿等でも数多く利用されています。

現在、2つの施設は、整備されてから約30年が経過し、施設の老朽化等で修繕が必要な箇所も出てきており、今後の方針や改修計画等を検討していく必要があると認識をしています。

答 教育部長

これらの施設をスポーツ施設の核となる施設と位置付けており、市の重要な基幹施設であることから、施設の老朽化等による機能不足の解消や地域の特性や新たなニーズへの対応等を検討していきたいと考えています。

今後は、青少年の健全育成や健康増進だけでなく子育て支援や文化活動も含めて、地域コミュニティの拠点や幅広い総合型地域スポーツクラブの活動の場となるように、B&G財団の助成金や県の補助金等を活用しながら、施設の改修を検討していきたいと考えています。

市政の「こ」を聞く！

います。

問 企業によるプロデュースや監修等のコラボレーションを検討する考えはありませんか。

答 教育部長

民間企業の新たな発想や今まで培ってきた経験を参考にしつつ、スポーツ関連や子育て支援関連等の企業からの支援やコラボ等も想定しながら検討していきたいと考えています。

さらなる魅力的な 学校給食の提供を

問 「こどもまんなか社会」を提唱する政府の政策等を利用することにより、メニューの数を増やしたり、児童・生徒が好む

メニューの量や頻度を増やしたりと、さらなる魅力的な学校給食を提供することを、どのように考えていますか。

答 教育部長

子どもに関する取り組みや政策を社会の真ん中に据える「こどもまんなか社会」の実現に向けて、令和5年4月に、こども家庭庁が創設されました。

メニューの数を増やすことについては、調理工程や職員の適切な管理等を見極め、残食が減る工夫もしながら、検討していきたいと考えています。

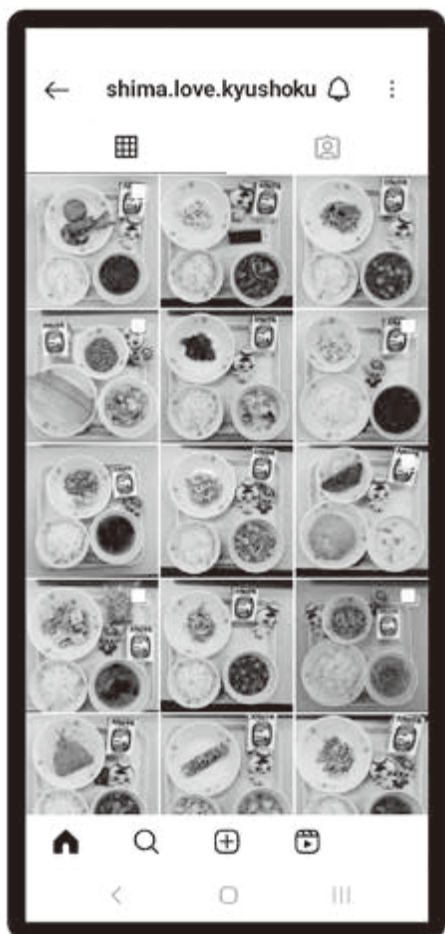
児童・生徒が好むメニューについては、残食のデータを把握するとともに、教職員とも情報を共有し、子どもたちに適切な量が行き渡るような工夫をすることで、残

食を減らす取り組みも進めています。

そのうえで、子どもたちの意見を聴き取り、栄養教諭や学校栄養職員とも相談しながら、栄養のバランスを考慮した子どもたちが望むメニューの量や頻度に反映させていきたいと考えています。

単に栄養を補給するだけではなく、食を通して多様な学びができるような工夫もたくさんしています。生産者から話を聞き、生産から流通、消費までのことを学ぶ機会を提供したり、地域の伝統的な食材を取り入れたり、食文化の理解を深めることができる学校給食を提供しています。

※他に「こみ屋敷条例制定の必要性」についても質問しました。



志摩市
学校給食センター
Instagram
ページへ



毎日の給食を Instagram で公開

新・議会構成 決定

令和5年11月1日の第1回臨時会において役員改選を行い、正副議長、議会選出監査委員、各委員および一部事務組合議会議員を決定しました。

また、同意3件と報告1件が提出され、審議しました。

令和5年
第1回臨時会

第1回臨時会

議案の審議結果一覧

◆ 全会一致で可決した議案等

※紙面の都合上、議案名が省略され、正式名でないことがあります。

区分	議案番号	議案名
その他	同意第16号	監査委員の選任
	同意第17号	志摩市公平委員会委員の選任
	同意第18号	教育委員会委員の任命
	報告第13号	専決処分の報告（損害賠償の額を定めること）

議長

なかむら たかし
中村 孝司

副議長

やました ひろむ
山下 弘

議長・副議長の写真とあいさつを裏表紙に掲載しています。

監査委員

しもむら たくや
下村 卓也



総務産業常任委員会

危機管理統括監、政策推進部、総務部、市民生活部、産業振興部、建設部、上下水道部、出納室、議会事務局、監査委員事務局、選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会及び消防本部の所管に関する事務並びに他の常任委員会に属さない事務について審査・調査を行う委員会



委員長 はまの よしと
濱野 由人

副委員長 ほりえ
堀江 しおん

委員 もり みつこ **森 光子** やまもと けいし **山本 桂史**
しもむら たくや **下村 卓也** まえだ としもと **前田 俊基**
はまぐち たかし **濱口 卓** わたなべ ゆりか **渡辺 友里夏**
にしざき じんご **西崎 甚吾**

教育厚生常任委員会

健康福祉部、教育委員会及び病院事業部の所管に関する事務について審査・調査を行う委員会

委員長 いのうえ みきお
井上 幹夫

副委員長 やまかわ くすひと
山川 楠人

委員 まつい けんじ **松井 研二** うえおら ひでゆき **上村 秀行**
かねこ けんせ **金子 研世** のな すみよ **野名 澄代**
やました ひろむ **山下 弘** おがわ てるあき **小河 光昭**



予算決算常任委員会

予算及び決算に関する事項について審査・調査を行う委員会

※議長を除く全議員で構成

委員長 **西崎 甚吾**

副委員長 **渡辺 友里夏**

議会運営委員会

議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項について調査し、議案、陳情等を審査する委員会

委員長 濱口 卓

副委員長 前田 俊基

委員 堀江 しおん 濱野 由人
森 光子 下村 卓也
井上 幹夫

議会広報特別委員会

議会の広報に関する調査・研究や編集を行う委員会

委員長 堀江 しおん

副委員長 森 光子

委員 松井 研二 井上 幹夫
前田 俊基 渡辺 友里夏
野名 澄代

一部事務組合等議会議員

鳥羽志勢広域連合議会

議長 前田 俊基

濱野 由人 下村 卓也
濱口 卓 渡辺 友里夏
上村 秀行 西崎 甚吾

志摩広域行政組合議会

議長 松井 研二

山川 楠人 堀江 しおん
山本 桂史 野名 澄代
山下 弘

人事

監査委員、公平委員会委員および教育委員会委員にそれぞれ次の方を選任・任命することに同意しました。

※敬称略

●監査委員

下村 卓也

(議会選出)

●公平委員会委員

山下 祐子

(磯部町)

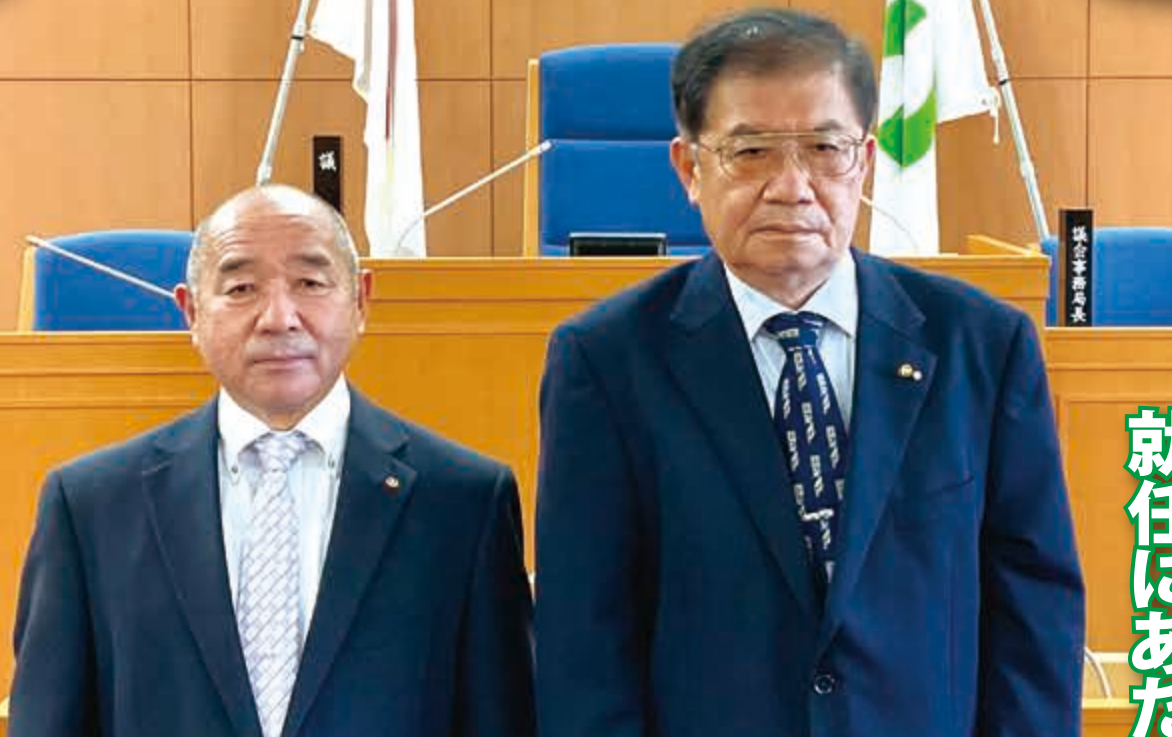
●教育委員会委員

茶吞 潤造

(磯部町)

正副議長のごあいさつ

住みよい志摩市一段の飛躍へ



就任にあたって

志摩市議会副議長
山下 弘

志摩市議会議長
中村 孝司

この度、令和5年11月1日志摩市議会副議長に就任させていただきました。新議長の議会運営に寄り添い、安全で住みよい志摩市づくりを目指して副議長として責務を全うしてまいります。

令和6年10月31日までの1年間の任期です。市制20周年の記念年にあたり、志摩市の一段の飛躍を市民一丸となって目指しましょう。

今後とも市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

この度、第17代志摩市議会議長に就任することになりました。身に余る光栄と感激いたしますとともに、責任の重さを痛感しております。議長として全力を傾け、公平・公正な議会運営に取り組んでまいります。

今、志摩市には、少子高齢化、人口減少への対応、空き家対策、磯焼け対策、地域経済の活性化、防災・減災対策、地域医療の確立、幹線道路網の整備等、まったなしの課題が山積みしております。議会が一丸となって、一歩でも前進出来る様努力してまいります。

最後に、市民の皆様のご理解とご協力、ご指導を賜りますようお願いいたします。